



2020年12月15日

各位

会社名： 小野薬品工業株式会社
代表者名： 代表取締役社長 相良 暁
(コード: 4528 東証第一部)
問合せ先： 常務執行役員
コーポレートコミュニケーション統括部長 谷 幸雄
(TEL: 06-6263-5670)

Chordia Therapeutics と MALT1 阻害剤「CTX-177」に関するライセンス契約を締結

小野薬品工業株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：相良暁、以下、当社）は、本日、Chordia Therapeutics 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：三宅洋、以下、Chordia）と、Chordia の MALT1 阻害剤「CTX-177」およびその関連化合物に関するライセンス契約を締結しましたので、お知らせします。

本契約の締結に伴い、当社は、全世界において CTX-177 およびその関連化合物を独占的に開発、製造および商業化する権利を Chordia より取得します。当社は、契約一時金として 8 億円、第 I 相試験開始時の開発マイルストーンとして 25 億円、その後の開発の進捗および売上高に応じたマイルストーンとして最大 496 億円を Chordia に支払います。また、当社は、CTX-177 の全世界での売上高に応じて、一桁台後半から二桁台前半のロイヤルティを Chordia に支払います。

CTX-177 について

CTX-177 は、リンパ球系の血液細胞において、その細胞内シグナル伝達に関与することが知られている粘膜関連リンパ組織リンパ腫転座 1（Mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma translocation protein 1、以下、MALT1）に対する選択的な阻害剤です。MALT1 の活性化は、リンパ球系の血液細胞のがん化に重要であることが報告されており、CTX-177 は MALT1 の活性を阻害することにより、これらリンパ球系の血液腫瘍に対する抗腫瘍効果が期待されます。

なお、CTX-177 の前臨床試験に関する結果は、本年 12 月 5 日から 8 日に開催された第 62 回米国血液腫瘍学会で発表されました（Abstract #141824: Daisuke Morishita et.al. Preclinical Evaluation of a Novel MALT1 Inhibitor CTX-177 for Relapse/Refractory Lymphomas）。

Chordia Therapeutics 株式会社について

Chordia は、2017 年 11 月にがん領域に特化した研究開発型バイオベンチャーとして神奈川県藤沢市の湘南ヘルスイノベーションパークに設立され、新しい作用機作を有する抗がん薬の研究と開発を行い、革新的な新薬を生み出すことを目指しています。

詳細については <https://www.chorditherapeutics.com> をご覧ください。

以上